

一般社団法人衛星放送協会とスカパーJSAT株式会社が インターネット上の著作権侵害対策を 共同で取り組み開始

一般社団法人 衛星放送協会(東京都港区 会長:和崎信哉)と衛星放送のプラットフォームであるスカパーJSAT株式会社(東京都港区 代表取締役 執行役員社長:高田 真治)は、インターネット上に違法アップロードされている会員各社の動画コンテンツの侵害対策を、7月1日より共同で本格的に取り組みを開始いたします。

スカパーJSATの協力の元、衛星放送協会がアルビクス株式会社のASPサービス「とりし丸」を契約し、その機能を衛星放送協会正会員およびスカパー！をプラットフォームとする全BS・CS放送事業者へ無償提供いたします。衛星放送業界は、違法動画の根絶を目指し今回の対策に取り組んでまいります。

今回の施策立案にあたり、衛星放送協会はインターネット上に違法アップロードされている会員各社の動画コンテンツを取り締まり、削除することを目的とした2か月間のトライアルを実施しました。その後、参加社にアンケート調査を行った結果は以下の通りです。

●トライアル実施期間:2015年1月15日～3月14日(2か月間)

●トライアル内容:

以下に挙げる2社のサービスを利用し、インターネットの監視と削除要請を実施する。

・アルビクス株式会社 「とりし丸」

同社が提供するASPサービス「とりし丸」を利用し、自社でインターネットの監視と削除要請を実施。

・イー・ガーディアン株式会社 「違法アップロード監視サービス」

事前に登録した番組を対象に、同社にインターネットの監視から検知まですべてを委託。

●トライアル参加社:24社26チャンネル

●トライアル結果:

期間中の合計削除件数は6,833件

●参加各社へのアンケート結果:

- ① ASPサービスを利用した削除作業は、事業者には負担が大きいですが、価格面では継続使用しやすい。参加者の約半数が有効であったと回答している。すべての作業を専門の監視サービスに委託した方が楽だが、今回のトライアルでは削除できる番組数が少なかった。
- ② 今回のトライアルで約半数の参加者が違法アップロードに対する認識が変わり、今後も何らかの対策が必要と認識されている社が80%を超えた。